

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	・児発は定員10名であり、主に2つの訓練室に分かれて活動している。ホールや中庭、テラスもあるし、畜産センターでの活動も展開できており、恵まれた環境にある。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1	10名の利用者を2つのグループに分け、それぞれ2名ずつの合計4名で療育に当たっていることが基本である。曜日による配置数のばらつきがある。加えて個に応じたきめ細かな療育を目指すために職員の増員が望まれる。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	2	旧幼稚園の施設であり、療育的に考えた構造になっている面が少ない。より適切な補助設備を設置するなど、改善を図っていく予定である。 療育プログラムについても、ゆりかごならではの自慢できるレベルに高めていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	1	・ソファ等があり、くつろげる空間になっている。 ・10月に4つの訓練室全ての床の改修を行い、衛生面・安全面において改善を図った。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	2	・できている部分もあるが、現状維持や以前からの流れで改善につなげられていない点も少なくない。児発管が若返り、当事業所ならではのプログラムや支援体制を模索している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	・現状維持は退化でしかない。 保護者評価で事業所満足度90%という結果だった。日常における意見交流においても風通しのよさがあるからこそその結果だと受け止めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	・10月、全利用者に紙面で結果を配布した。加えて、年内にホームページにアップする。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	・第三者評価は行っていない。関係機関からの声を集め、改善に結びつけることは心掛けている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	・研修を推奨し、資格を取得した場合には資格保有手当を法人が支給している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	0	・子ども理解についての意見交流を職員会やミーティングだけでなく日常的に行っていることで、より深く共有された支援計画を目指している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	2	・応用行動分析学に基づいた子供理解と支援に向けた見立ての在り方について取り組み始めた。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	0	・応用行動分析学に基づいた計画案の作成、支援の実践を目指している。特に令和6年度に向けては療育プログラムの開発に向けて職員研修を進め、具体化を図っていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	0	・支援計画の共有こそが生命線である。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	1	・一か月の活動計画を立案する際に、職員相互の意見を取り入れて意図的な活動となるように立案している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	4	0	・当然のことである。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	・毎朝、確実にミーティングを開催し、職員間の共有を図っている。特に、健康管理・安全確保は当然のことであるが、より効果的な個別支援の視点をパート職員も含め重要視している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	毎日ではできていない。しかし、確実情報共有ができるように職員の連絡共有カードを用い、児発管が情報を集約している。日をまたがない対応が望まれるケースでは管理者・児発管のリーダーシップにより打ち合わせを行い、対応の共有まで確実にやっている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	・活動の様子は連携ノートに記録し保護者とも共有している。また、重点的な支援ケースについては職員会で検討を行い支援の充実につなげている。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1	・モニタリングは定期的確実にやっている。目標と支援について保護者との確実な共有に務めている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	0	・児発管を中心に参加し、情報共有を図り支援の充実につなげている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	1	2	・エール岐阜や自治体の療育センターとの連携を行っているがケースは多くない。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1	1	・作業療法士からの助言や支援についての指導を受け、具体的な支援の充実につなげている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	1	・必要がある場合に連携会議を仕組むが、体制を整えているとまではいえない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	0	・支援ベクトルの共有こそが重要になるため、垣根を低くした情報共有に務めている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	1	・スムーズな就学に向けて保護者・相談支援専門員と特別支援学校等への就学がスムーズに進いように保護者と一緒に学校見学等に参加している。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	・県の現場派遣型研修を活用し、当事業所の療育について助言を受けた。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	4	・行っていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	3	・委員に任命されていないため対応していない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	・保護者による送迎の際に連絡ノートで情報共有を図るとともに、言葉でも良さや課題について交流し、支援についての共有を進めている。
	保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	0	4
32		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1	・契約時に丁寧にしている。しかし、契約時に説明することが多く、利用者にとってどこまで理解していただけるかは自信がない。必要に応じて繰り返し説明を行っている。
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	0	・当然行っている。
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	・モニタリングは当然だが、日々の送迎の際に保護者に声を掛けて子育てを応援している。
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	4	・保護者の会等は現在行っていない。希望者にフリー参観日や子育てサロンを提供することを検討している。
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	・「日をまたがない対応」を職員で共有し、寄り添った子育て相談や真摯なクレーム対応に心掛けている。保護者アンケートでの利用満足度は90%であった。
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	・翌月の活動プログラムを中心に保護者に対して毎月情報発信を行っている。また、「ゆりかごメッセージ」として子育て情報等を不定期ではあるが学校している。
38		個人情報の取扱いに十分注意しているか	4	2	・情報セキュリティポリシーに則り対応している。職員研修を行うとともに、管理者が管理・評価している。
39		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	・合理的配慮の具体について保護者との共有を行うとともに、職員間でも共有を行っている。
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	4	・地域連携は行っていない。地理的に難しいと考えている。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	2	1	・マニュアルは整備している。加えて必要に応じてタイムリーに通信発行と掲示で保護者連携を行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	0	・てんかん発作での救急搬送が起きた際にも、職員の対応研修を繰り返し、より確かな動きにつなげている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	0	・モニタリングでは確実に確認を行っているが、日常の送迎時にも
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	1	・対象利用者の保護者とは、定期的面談の際に確認を行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	・記録簿を職員が目にする場所につるし、緊急時もすぐ時系列で記録ができるようにしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	1	・施設長が児童福祉司経験者であり、具体的な判断や適切な対応について職員を指導している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	1	・強度行動障害傾向がある利用者も複数みえる。安全確保のために訓練室入口に鍵とは別にフックも設置している。身体的拘束に該当する施設であることを掲示で公示するとともに説明も行っている。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。